

# 令和5年度 第5回 出雲市行財政改革審議会 会議概要

1. 開催日時 令和6年2月6日（火）10:00～11:50

2. 開催場所 出雲市役所6階 議会委員会室

## 3. 会議の出席者

### (1) 委員（16名）

吾郷美奈恵委員、今岡真治委員、江角彰則委員、大谷直美委員、小林幹治委員、関 耕平委員、高尾雅裕委員、高橋 詠委員、珍部 誠委員、成相善美委員、布野敏次委員、松林重雄委員、水 陽子委員、水師幸夫委員、森山健治委員、渡部英二委員

※欠席者4名（板垣成二委員、井上克夫委員、高橋義孝委員、原 市委員）

### (2) 事務局（9名）

三島総務部長、安井財政部長  
財政課 金本財政部次長兼財政課長  
人事課 三原総務部次長兼人事課長  
行政改革課 小村課長、西主査、須田係長  
行政改革課施設経営室 福間室長、森山副主任

## 4. 会議

### (1) 三島総務部長あいさつ

- ・ 前回の会議から約3か月ぶりの開催となった。この3か月間の経過を少し説明させていただくと、11月30日に関会長、布野副会長から市長へ答申書を提出していただき、このことについて12月議会に報告させていただいた。いただいた答申を踏まえ大綱の素案を作成し、1月17日からパブリックコメントを実施している。
- ・ 本日の会議では、作成した大綱の素案と大綱の具体的な取組内容を定めた実施計画の素案を確認いただきたいと考えているので、よろしく願います。

### (2) 関会長あいさつ

- ・ 今年度の審議会は、今後の行財政改革の全体像を決める大綱の答申に向けて、大変活発に議論いただいた。
- ・ 本日は大綱と実施計画の素案について、住民の目線でご意見いただければと思うので、よろしく願います。

### (3) 委員の異動

- ・ 出雲青年会議所理事長の交代により、金村委員に代わり、江角彰則様に新たに就任いた

だいた。

- ・ 連合島根中部地域協議会出雲地区会議議長の交代により、岩田委員に代わり、事務局長の松林重雄様に新たに就任いただいた。

#### (4) 会議の成立

- ・ 本日の会議は、委員 20 名のうち 16 名に出席いただいている。審議会条例第 5 条第 2 項の規定により過半数に達しているため、本会議が成立していることを報告する。

#### (5) 配布資料の確認

事前送付資料

- ・ 【資料 30】 第 3 次出雲市行財政改革大綱（素案）
- ・ 【資料 31】 出雲市行財政改革前期実施計画（素案）

当日配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 委員名簿

#### (6) 議事（発言要旨）

##### ① 第 3 次出雲市行財政改革大綱（素案）について【資料 30】

###### 【行政改革課 西主査説明】

- ・ 大綱の素案は、当審議会からの答申を踏まえ作成した。
- ・ 3 ページの「1. 策定にあたって」では、大綱の導入部分として、これまでの行財政改革を取り巻く経過や行財政改革の継続した取組の必要性について記載をしている。
- ・ 4 ページの「2. これまでの行財政改革の取組と成果」では、平成 17 年 3 月に当市が合併して以降の行財政改革の取組の経過について記載しており、これまでに 2 度の大綱を策定して行革の取組を進めてきたことや取組の成果などについて記載をしている。
- ・ 5 ページの「3. 行財政改革推進の基本方針」の「(1) 基本的な考え方」では、行財政改革の基本的な考え方として、基本方針のほか、財政計画を基本にした取組を行っていくことについて記載をしている。また、「③ 市民への説明の徹底」として、当審議会から提言いただいた「行革の取組の実施にあたっては、市民や地域等へ丁寧な説明を行うこと」について項目立てをした。そして、「(2) 行財政改革の推進」のところでは、大綱と計画の期間のことと進行管理のことについて記載をしている。
- ・ 6 ページの「4. 個別の取組方針」は、基本的に答申いただいた内容となるが、大綱の素案を作成するなかで、新たに加えた項目が 3 つあるので説明させていただく。
- ・ 一つは、10 ページ「③ 公共施設整備の新たな手法の検討」であり、これは、公共施設整備をする際に、有利な補助金等の財源が見込めない場合などに、今後、民間資金等の活用を含めたさまざまな整備手法を検討していく必要があると考えており、この項目を追加した。
- ・ 二つ目に、10 ページの「② 人材育成と働きやすい職場環境」の項目のなかの「取組内

容」に、「専任職員（エキスパート）の配置」という項目を追加した。これは、高い専門性が必要と考えられる特定の行政分野に専属して業務にあたる専任職を設ける制度で、今後、技術の承継などを目的に配置することを考えているため追加した。

- ・三つ目に、11ページの「①財源の確保」の項目のなかの「取組内容」に、「ふるさと納税制度の活用」の項目を追加した。これは、ふるさと納税制度という国の制度を積極的に活用し、財源の確保を図っていくということで項目立てしたものである。
- ・今後のスケジュールについて説明すると、現在実施しているパブリックコメントや本日の会議のご意見を参考にしながら大綱（案）を作成し、3月議会で報告の後、4月から施行というスケジュールを考えている。このあとご説明する実施計画についても同様の流れを考えている。
- ・それから、大綱と実施計画の表紙をご覧くださいと、タイトルとのところをピンク色に着色している。この色は「トキ色」というもので、現在、出雲市ではトキの野生復帰に向けた市内外へのPRを目的に、トキの羽根の色である「トキ色」を市のイメージカラーに指定し、これを積極的にPRすることにしている。こうしたことから、大綱と計画のタイトルのところにトキ色を入れている。

#### 【質疑】

#### 【委員】

- ・6ページの「①適正な事務事業の実施」の「現状と取組の方向性」の一番最初のところに、「限られた財源と職員数で、市が全てのニーズに対応することは困難な状況です」と記載されている。これは10年後を見据えたなかでの職員数という捉え方でよいか。というのも、現在、再任用であるとか定年延長によって、職員が余っている状況にあると思っている。当面は職員数が足りないということはないと思っている。

#### 【事務局】

- ・本市は、これまで退職者補充ということで、退職された数と同じ数の職員を雇用していくというルールで運営をしてきた。これについては、定年延長になっても基本的な考え方は同じで、60歳に達した職員が引き続き勤められるのであれば、これを補充しないこととしているので、職員数は定年延長を理由に増えることはない。
- ・ただし、今後の事業展開を考えた時に、2030年に国民スポーツ大会が予定されており、本市でも10種目程度を受けることになっているので、この部分については職員数を増やして対応せざるをえないと考えている。

#### 【委員】

- ・4ページの「これまでの行財政改革の取組と成果」のところに財政指標のことについて触れてある。実施計画の冒頭の「計画策定の目的」に記載されているが、エネルギーセンターや新体育館の建設など、将来のための施設を現在対応したということがあるので、このことについて、取組と成果の後段のところにも少し触れておく必要があるのではないかと思う。公共施設の整備をしながらも財政指標が改善したことを言うべきであると思う。

### 【事務局】

- ・発言の趣旨はよく理解できるので、記載について検討したい。

### 【委員】

- ・インフラ投資も含めて必要なものを進めつつ、財政指標も改善してきたということは大きな成果だと思うので、反映していただければと思う。

### 【委員】

- ・大綱は過去の積極的な社会基盤整備に対して、出雲市が引きずってきたものを回復させるという意味で、財政基盤の健全化ということが大きな命題としてあると思う。
- ・同時に、前文にもあるように、山陰両県で出雲市のように元気な自治体は他に見当たらないと思うので、その点を社会的条件に恵まれているという部分も含め、市民の共通理解としておくべきと考える。
- ・IT人材、外国人人材などが、地域づくりに寄与するかは、これからの話だと思うが、県内周辺も含めて外部から選ばれる自治体であるということを、出雲市は表現できる環境にあると思う。住みたい自治体をめざすことが重要であると感じている。そういう面では、大綱のなかに記載もあるが、民間活力を活用するという点も重要であり、市の積極的な取組として、大綱のなかに何らかのニュアンスなりをもう少し出されてもいいのではないかと思った。大綱は、精密な形で組み立てられているが、そのような部分があってもいいのではないかという感想を持った。

### 【委員】

- ・5ページの下のところの大綱の目標設定のところ、歳出規模と基金残高の目標の記載があるが、歳出規模と基金残高について直近のところの数値を教えてください。可能であれば、記載もあればよいと感じた。

### 【事務局】

- ・歳出規模は860億円程度、基金残高は55億円程度である。
- ・物価高騰などの影響もあり、令和3年度に策定した財政計画とは少し開きが出てきている。令和6年度に財政計画の見直しを予定しているので、来年度、あらためて今後10年間の計画を立て、行財政改革の取組に反映させていきたいと考えている。

### 【委員】

- ・4ページの参考値として、全国平均との比較が掲載してある。出雲市の将来負担比率が157.4%に対して、市区町村の平均は8.8%となっており、数値がかけ離れてると感じた。可能であれば、出雲市と同規模の自治体の数値を記載するとよいと思う。

### 【事務局】

- ・将来負担比率について、出雲市と同規模の団体である類似団体の平均は27%程度である。島根県内の市町村は、もう少し高い数値である。類似団体や県内の数字などを入れたいと思う。

### 【委員】

- ・県内や類似団体の数値の掲載については、ご検討いただきたい。
- ・今回、新たに追加になった項目として、専門性を持った職員の配置ということが記載されているが、この点について意見がないか。

### 【委員】

- ・これまでの審議会で、職員の専門性について発言をしてきたが、発言の意図は、特定の分野において、例えば技術職という意味ではなく、1年や2年の短い期間で職員が異動すると、業務の専門性が深まらず、先のことを見据えた取組ができるだろうかというもので、異動のスペンが短いことへの問題提起としての発言であった。

### 【事務局】

- ・これまでの会議で異動のスペンが短いというご意見をいただいたため、10ページの「②人材育成と働きやすい職場環境」の「現状と取組の方向性」のなかに「各部署における専門性を高めていくために、職員の知識と経験をふまえた配置を考慮する必要がある」という記載を加えさせていただいた。異動のスペンという直接的な表現が難しいため、このような表現とさせていただいたところである。

### 【委員】

- ・了解した。

### 【委員】

- ・4ページと5ページの記載の「取り組み」と「取組」で、送り仮名があるところとないところがあるので、もう一度確認していただければと思う。
- ・トキ色の説明があったが、このことについて表紙か裏表紙にでもコメントをいれていただくとよいと思う。PRとしてトキの絵を入れ、表紙を見て未来が明るくなるようなイメージでまとめていただければと思う。

## ②出雲市行財政改革前期実施計画（素案）について【資料31】

### 【行政改革課 西主査説明】

- ・議事の一つ目で説明した行財政改革大綱は、行財政改革に係る考え方を示したものであるのに対して、実施計画は大綱の取組内容を定めたものとなる。
- ・3ページの「1. 計画策定の目的」では、計画の導入部分として、この計画に基づいて取組を行っていくことを記載している。
- ・「2. 計画期間」では、本計画の期間を示しており、大綱10年間の前期5年間の計画であることを記載している。
- ・「3. 進行管理」では、この審議会において取組の検証を行うこと、そして、進捗状況を市議会へ報告するほか、広報紙やホームページを通じて公表することを記載している。
- ・「4. 計画策定にあたっての基本的な考え方」では、大綱に記載している3つの基本方針と「個別の取組方針」の体系図を記載している。そして「(3) 目標額の設定」では、「①財政効果目標額の設定」として、令和3年12月に策定した財政計画に基づいた取組を進めることと、実施計画期間中における財政計画の収支不足額から、目標額を8億

円に設定することについて記載をしている。

- ・ただ、この財政計画は来年度に見直しをする予定としていることから、財政効果目標額の設定については、財政計画の見直し状況によって収支不足額が大きく変動するようなことがあれば、目標額の設定も考えていく必要があることとしている。
- ・「②年度ごとの目標額の設定」のところでは、本計画の最終年度となる令和10年度に、目標額の8億円が達成できるよう取組を進めることを記載している。その進行管理の目安として、毎年1億6千万円を目標額と設定し、取組を進めていくこととしている。
- ・6ページの「(4) 個別の取組の設定」では、取組の設定の考え方を記載しており、各取組は可能な限り財政効果額を算出したいと考えている。しかしながら、財政効果額の算出が難しい取組であっても、行革につながるものは取組項目として設定することとしている。
- ・「5. 財政効果額の算出方法」では、財政効果額の算出の基本的な考え方について記載をしている。毎年、実績報告をする際には、財政効果額がいくらであったかを算出することになるが、基本的な考え方として、本計画期間の前年となる令和5年度の決算額を基準にして、歳出であれば行革の取組によって減少した額との差額を、歳入であれば行革の取組によって増加した額との差額を効果額として算出したいと考えている。
- ・7ページ以降に取組の一覧を掲載している。掲載している各取組は、現計画における取組を継続しているものと新たに設定した取組がある。
- ・一覧表では金額欄を空欄にしているが、最終的には市で整理した財政効果の見込額を入れたいと考えている。
- ・一覧のなかで新たに設定した取組として、7ページの「(1) 適正な事務事業の実施」のなかでは、「④地籍調査の手法の見直し」、「⑤消防イントラネット用パソコンの削減」、「⑥消防団の定員数の見直し」がある。また、7ページ下の「DX推進による業務の効率化と市民サービスの向上」では、「AI・RPAによる業務効率化」などは継続した取組であるが、基本的に取組全般について新規となる。
- ・8ページの「2. 公共施設のあり方と管理運営」では、「②電気自動車急速充電施設の更新及び課金制の導入」が、9ページの「3. 組織体制の充実と人材育成」の「(2)人材育成と働きやすい職場環境」の項目では、項目全般について新たな取組となる。
- ・その他、ここに記載していない少し細かな取組については、毎年の実績報告のなかで報告したいと考えている。また、特に組織に関する取組になろうかと思うが、財政効果額として金額が把握できない取組に関しては、コメントなどの文章で報告させていただきたいと考えている。

## 【質疑】

### 【委員】

- ・電気自動車の急速充電施設の説明があった。課金制の導入とはどういうことか教えていただきたい。

### 【事務局】

- ・現在、道の駅3か所に市が運営する電気自動車の充電スタンドを設けている。このスタ

ンドは、現在無料で利用していただいている。このスタンドを、今後、民間の運営に変更することに合わせ、無料から課金制（有料）に移行するということである。

**【委員】**

- ・了解した。充電施設は国の補助金があったのか、それとも市が負担したのか。

**【事務局】**

- ・国の補助金を利用して設置したものである。

**【委員】**

- ・公共施設の統廃合や譲渡等の取組では、新聞などで取り上げられている裁判事案などもある。こういったことは、今後の取組に影響してくるのか。今後もこれまでどおりの考え方で、統廃合や譲渡等を行っていく考えか。あるいは新たな考え方を織り込んでいくのか。

**【事務局】**

- ・公共施設のあり方については、今後も市のあり方指針に基づき、民間譲渡等の取組を進めていく。
- ・民間譲渡の進め方については、民間のニーズなども踏まえ、検証しながら進めていく必要があると考えている。

**【委員】**

- ・裁判などの事案になれば、今後の公共施設の譲渡や統廃合の取組が阻害されるような状況が起こってくるのではないかと心配したところである。

**【事務局】**

- ・民間譲渡にあたっては、譲渡先とさまざまな協議をしながら進めている。そのなかで、行き違いなどがあった場合は、先ほど言われたようなことも発生する可能性はあるが、譲渡先と協議をしながら進めていくという方針に変わりはないので、できる限り理解の相違がないような形で進めていくことが必要であると考えている。

**【委員】**

- ・表現の仕方で確認したいが、取組の一覧のなかで、検討から実施、そして継続という流れで言葉が使われている。ただ取組によっては、準備から実施となっているものもあり、準備と検討をどのように使い分けているのかと思った。
- ・「(1) 財源の確保」の「⑤法定外目的税の検討」は、研究するとなっているが、どの年も検討となっており、表現的に研究を検討するとはどういうことだろうと思った。もし他の言葉を使っていいのであれば、「推進」など他の表現でもいいかと思った。

**【事務局】**

- ・取組の進捗状況については、7ページの上段に、「実施」「継続」「準備」「検討」のそれぞれの言葉の説明を書かせていただいている。「検討」とは、方針を決定する内部検討段階のものであり、「準備」は、方針案が決定して実施に向けて準備段階のものをさしている。
- ・項目によっては、同じ年度に検討から準備、実施ということもあるかもしれない。いず

れにしても、進捗状況の表現については整理しないといけないと考えているので、金額も合わせて、整理をしたいと考えている。

- ・法定外目的税の検討については、現在の第2期実施計画のなかでも同じ項目があり、表現も含め、これを継続した形としている。ご意見については参考にさせていただきたいと思う。法定外目的税の関係でいうと、松江市が検討されており、近隣の自治体の状況も見ながら研究をしていく状況にあるということを申し添えておく。

#### 【委員】

- ・7ページの「⑥消防団の定員数の見直し」は現在進められており、各分団とも2部体制ということとされている。金額的にはどういった効果を見込まれているか。

#### 【事務局】

- ・定員の見直しによって、団員の数が減少することになる。これに伴って団員への報酬が縮減するため、これを効果として見込んでいる。

#### 【委員】

- ・8ページの「(2) 公共施設の利用促進と管理運営」のところで、公共施設の長寿命化については触れられているが、今回の能登半島地震において、建物だけでなく、例えば橋梁や道路、水道管など、インフラ施設が古いものほど大きなダメージを受けている。こういった重要なインフラに係るものを更新していくということ、あるいは補修をしたり、長寿命化したりしていくことは、非常に重要なことだと思う。公共施設の利用やあり方については記載されているが、古くなったものを新しくしていくことの記述がないが、そのあたりはどうか。

#### 【事務局】

- ・公共施設については総合管理計画があり、この計画は市全体の管理計画として、インフラ資産も含んだものとなっている。この総合管理計画に基づき、各施設ごとに個別施設計画を策定しており、例えば橋梁であったり、道路であったり、それぞれ個別の施設ごとに策定をしている。
- ・この計画の策定を進め、計画に基づいて適正な更新を行い、長寿命化を図るということになる。表現については、分かりやすくしたいと思う。

#### 【委員】

- ・法定外目的税の検討について、どういったものを検討中であるか教えていただきたい。

#### 【事務局】

- ・法定外目的税は、税金がかかっていないものに対して新たに税金をかけることになるため、慎重に検討していく必要があると考えている。
- ・法定外目的税について、研究という表現になっているのは、本市が新しい税金を直ちに導入するというのではなく、常に念頭におくというものである。なお、現在、法定外目的税として具体的に検討しているものはない。

### 【委員】

- ・ 10ページの「使用料・手数料の見直し」で、「公平な受益者負担を勘案した適正な使用料・手数料を設定する」というのは非常に難しいことであると思う。「近隣自治体の状況等を勘案し必要に応じて見直しを行う」と記載されているが、近隣の自治体も同じような感覚かと思う。
- ・ そもそも適正というのは、非常に難しく、市民の皆さん方に理解をどのように得るかというところが大切になってくるかと思う。
- ・ 県や国に公共料金の見直しに関する基準などがあるのか。あくまでも各自治体の判断でやっていくものなのか、教えていただきたい。

### 【事務局】

- ・ 具体的な基準はなく、各自治体で判断をして設定することになる。
- ・ 出雲市の場合、例えば体育館やホールなどの施設については、受益者負担として利用される方に一定の負担を求める形をとっている。
- ・ 市では5年に1度、料金を見直しを検討することにしており、ちょうど今年度実施することになっている。改定については、慎重に検討する必要があると考えている。

### 【委員】

- ・ 物価高騰などもあって、指定管理などを受ける側にとっては、引き上げのタイミングかとも思いますが、改定の検討状況はどうか。

### 【事務局】

- ・ 使用料の見直しについては、現在の利用者負担の考え方では、今後人口減少社会に向かうなかで、利用する人が減れば1人当たりの負担は増えることになるので、そのあたりのバランスをどのように取っていくのか難しいところである。
- ・ 今はコロナ後の回復状況を見守っているところであり、直ちに使用料を改定するという考えはないが、いずれは検討する必要があると思っている。

### 【委員】

- ・ 9ページの「(1) 財源の確保」に市税等の収納対策の強化ということが記載されているが、具体的な取組があるのか。

### 【事務局】

- ・ 今までの計画でも同じであるが、当初の段階においては、このように大枠としての主要項目を掲げさせていただき、取組が進むにつれ、その項目を追加していくこととしている。

### 【委員】

- ・ 大綱の素案では、11ページに取組内容として「収納対策の強化」という項目が掲げられていたため、数値目標を掲げられるのかと思い聞かせていただいた。取組が進むなかで、そういった項目も設定していくということか。

### 【事務局】

- ・ 具体的な取組内容などについて、固まった時点で計画のなかに随時反映させていくということになる。

### 【委員】

- ・大綱の5ページのところで、説明では財政計画における歳出規模の目標は750億円程度であるが、実際の歳出規模は860億円という説明があった。令和6年度以降の具体的なものがないと、現実とかけ離れていくと思うがいかがか。

### 【事務局】

- ・本日お示しした計画の取組には、金額は入っていないが、最終的には金額を入れたものとしていく。今後、この計画に沿った取組が進めば、金額が入ってくるため、より詳細なものになっていくものと考えている。

### 【委員】

- ・金額が入っていくということだが、今後のスケジュールはどうか。

### 【事務局】

- ・大綱と前期実施計画の最終案を3月の市議会で提示したいと考えている。
- ・実施計画では、前期5年間で目標を8億円としているが、取組に係る数字の積み上げはそれぞれの取組の見込数字を入れたもので作成し、3月議会で示したいと考えている。

### 【委員】

- ・審議会のなかで特に議論になり、また、現計画と大きく変わった内容として、「組織体制の充実と人材育成」があった。これまでの行財政改革は、コストカットを中心にせざるえなかった面があるが、今後は多様なニーズに応える形で職員の方々にどう頑張ってもらいたかということも含めて、かなり重点的に議論されたと思う。
- ・ただし、この部分は数値として捉えにくい部分がある。先ほど説明があったとおり、記述でしっかり説明するということであつたので、来年以降の実施計画の説明や議論のところで、しっかりと記述と説明をしていただき、市民の方々にも分かるような形にしていただきたい。

## (7) その他

### 【委員】

- ・来年度以降の審議会の場で議論するテーマについて、委員の皆様からご意見をいただきたい。

### 【委員】

- ・斐川町に住むことになった者が、子どもの保育園を希望したところ、入所ができなかった。市内で保育園に入れないということが起きるとは思っていなかったのが、大変驚いた。一方で、周辺部では、保育園の定員に達していない状況もある。
- ・合併後の一体的な発展と言いながら、とてもいびつな形で市が発展していると感じている。
- ・大綱と計画の素案は、ほぼ全てが網羅されているが、我々が生活していくなかに活かされているという実感を、あまり感じない。
- ・地域間格差があるなか、どうしたら一体的に発展していけるのか、皆で考えることができたらよいと思う。

### 【委員】

- ・東京一極集中のような感じで、偏ったところに産業が集積すると、そこに人が住むということになっていくと思う。これは仕方がないことだとも思うが。
- ・来年、出雲インターから西へ無料の高速道路が整備されるが、湖陵や多伎、長浜などの西部地域に、大きな工業団地でなくてもいいので整備してほしいと思っている。人が住み、地域が活性化するためには必要であると考えている。無料の高速道路ができれば、江津市くらいまでは通勤圏になる。こういうことをしなければ、均衡ある発展は難しいと考える。
- ・人口減少社会を迎えると、この出雲市でも特に周辺部は減少幅が大きく、地域間格差がさらに大きくなると思う。
- ・周辺の人口減少が進むと、公共施設も不要になってくる。そうすると、保育施設や教育施設も管理ができなくなってくる時がやってくる。また、農業も担い手がおらず、地域が荒廃することが見えている。こういったことから均衡ある発展について、議論ができればよいと思っている。

### 【委員】

- ・地域の二極化については、審議会のなかでも議論があったところであり、重要な論点であると感じている。このことは、公共施設の配置のあり方にもつながるし、周辺部の産業基盤である農業への支援などにもつながり、今年度の審議会のなかでは議論してこなかった論点であるので、今後のテーマとして候補になるかもしれない。

### 【委員】

- ・出雲のまちづくりを考えた時に、現在あまりにもスーパーが多いように感じている。まちの規模に応じた規制なども必要であると思っている。地元の業者が少なくなり、県外からものが入ってくるようになった。伝統あるものが少しずつ減っており、寂しい状況になりつつある。市民の生活が成り立つのであれば、ある程度の規制が必要ではないかと考えている。まちづくりを考えた時に、もう少しバランスのいいあり方があってもよいのではないかと考えている。

### 【委員】

- ・この会議の場で話す内容ではないかもしれないが、私もこの出雲は、オーバーストア状態であると思っており、人口に対して食品を提供する場が多すぎると感じている。雇用や人口増に伴った受け皿を整備する側面がある一方で、食品ロスなどのSDGsの現状などについても議論する場があれば、取り上げていただければと思う。

### 【委員】

- ・目的税のことなど、市としては慎重な回答をされるが、収入源として儲けるアイディアを内部や外部から募るなど、もっと議論をされたいと思っている。そして、こういう議論に加わりたいと思っている。
- ・人材育成のところで、若い人材に集中的にDXのことをやってみるとか、政策目的と人材育成をもっと合致させた方向性も必要であると思っている。
- ・20代や30代の将来を担う人が、本音のところでどう考えているか吸い上げる機能があるといいと思った。

### 【委員】

- ・ いずれも産業未来博のポスターを子どもたちに描いてもらったところ、子どもたちが、どんどん発展していく出雲ではなく、今のままがいいという意見もあった。それがそのままポスターに描かれていた。次を担う子どもたちは、どんどん発展していくことを望んでいないのかもしれない。そうであるならば、コンパクトシティをめざしていくのもありかなと感じた。

### 【委員】

- ・ スーパーの話になるが、問題なのはオーバーストアのこともあるが、市の周辺部が人口減少に伴って売り上げが下がってきているということがある。鳥取県ではスーパーの閉店したことなどが報道されている。労働者の確保や人件費が上がっている状況において、周辺部の運営が難しくなっている。まちづくりという観点からいけば、人口減少に伴う今後のあり方や考え方を行政も一緒になって考えていただきたいと思っている。

### 【委員】

- ・ たくさんのご意見をいただいた。次回以降のところ、担当部署の方にも出かけていただき、議論を少し深めていけたらと思っている。審議事項との関係で、全て応えていただくことはできないかもしれないが、事務局のほうで整理していただき、議題の設定について協議できればと思っている。

### 【事務局】

- ・ 次回の会議は来年度を予定しているが、本日いただいたご意見が、行財政改革の取組にどのようにつながっていくのかを整理しながら進めていけたらと思うので、引き続きよろしく願います。

## (8) 閉会にあたって

### 【事務局】

- ・ 今年度の会議は本日が最終となる。次回の会議は来年度となるが、こちらについては、あらためてご案内したい。引き続きよろしく願います。